

令和5年度
自己評価報告書の概要

令和6年5月20日

大宮呉竹医療専門学校

目 次

教育目標と本年度の重点目標の評価.....	1
基準1 教育理念・目的・育成人材像.....	2
基準2 学校運営.....	3
基準3 教育活動.....	4
基準4 学修成果.....	6
基準5 学生支援.....	7
基準6 教育環境.....	9
基準7 学生の募集と受入れ.....	10
基準8 財務.....	12
基準9 法令等の遵守.....	13
基準10 社会貢献・地域貢献.....	14

教育目標と本年度の重点目標の評価

学校の教育理念・目標	令和6年度重点目標	達成計画・取組方法
<p>【教育理念】 医の東西を問わず豊かな知識と技術を備え、全人的医療を施すことのできる医療人を育成すること。</p> <p>【教育目標】 全人的医療を施すことのできる医療人を育成するために、卒前・卒後を一貫した教育体系として捉え、教育施設並びに附設する医療施設を有機的に活用しながら、東西医療への理解を深めると同時に医療実践能力を修得する完結的教育を施していく。また、知識・技術の修得と併せて人格形成の教育にも力を注いでいくことを本校の教育目標とする。</p>	<p>令和5年度の重点目標や課題の取組状況を踏まえて、令和6年度の重点目標として次の3点を掲げることとした。</p> <p>【1】本校の教育理念及び教育目標を達成するために、学生の修得状況を踏まえたカリキュラムの編成を行うとともに、授業の進捗管理や評価に関する教務について、計画的かつ効率的に進める体制を整える。</p> <p>①学生の修得状況を踏まえ、苦手科目や関連科目のシラバス・コマシラバスを見直す。②科目の位置づけ、科目間の関連及び授業方略について見直し、教員の認識を共有する。③授業実施計画の策定、進捗状況の管理及び評価結果の確認等が適宜把握され、かつ効率よく実施できるように手順等を見直す。</p> <p>【2】学校評価及び第三者機関による卒業生・入学生アンケートの分析結果を活用した学校改善活動を行う。</p> <p>①職業教育評価機構の評価指標を用いた自己評価における課題に取り組む。②柔道整復評価機構の評価指標を用いた自己評価項目について理解を深め、課題の洗い出しと解決策の検討を行う。③卒業生共同調査及び入学者調査の分析結果から、対策の効果や今後の課題について検討し、改善に向けた取り組みを行う。</p> <p>【3】各部署における中期目標を達成し、定員充足率、国家試験合格率及び就職率の向上を図る。</p> <p>以下に示す令和6年中期目標の達成に向けて計画的に活動する。①入学定員充足率（令和7年度入学生）：77.8% ②中途退学者の低減（期首在籍者の中途退学率）：6.2%以内 ③卒業率：73.2% ④就業支援体制の充実（12月1日時点の就職内定率）：77.3% ⑤コマシラバスの作成（鍼灸科・鍼灸マッサージ科：85%、柔道整復科作成済） ⑥アクティブラーニングの導入科目割合：70% ⑦施術所ベッド稼働率（あま指施術 55%、はき施術 75%） ⑧施術所（ほねつぎ）患者の確保（1-3人/日）</p>	<p>左記の重点目標に基づいて、各部署の目標設定を行うとともに、個々の教職員による目標達成計画の設定と評価を半年毎に行うことによって、重点目標の達成を目指す。</p> <p>【1】本校の教育理念及び教育目標を達成するために、学生の修得状況を踏まえたカリキュラムの編成を行うとともに、授業の進捗管理や評価に関する教務について、計画的かつ効率的に進める体制を整える。●鍼灸科・鍼灸マッサージ科：学力向上を目的とした読解力強化や基本的事項の暗記を徹底し、日々の授業や実習を通じて、医療人としての意識を涵養し、質の高い卒業生を輩出する。●柔道整復科：本校の教育理念及び教育目標を達成するために、学生の修得状況を踏まえたカリキュラムの編成を行うとともに、授業の進捗管理や評価に関する教務について、計画的かつ効率的に進める体制を整える。●事務局：分掌業務に関する課題を整理し、解決に向けた目標を示してその実現に向けた計画に取り組む。</p> <p>【2】学校評価及び第三者機関による卒業生・入学生アンケートの分析結果を活用した学校改善活動を行う。●鍼灸科・鍼灸マッサージ科：主体的参加型授業を適切な時期に組み込むことで、学習効率を挙げ、質の高い学習に繋がられるよう、日々の指導で適切な課題や小テストを提供する。●柔道整復科：卒業生・入学生アンケートの分析に対する省察と学校の改善活動に対するPDCAサイクルを効率的に回す。●事務局：学校評価及び卒業生・入学生アンケートの実施やとりまとめに関する事務を円滑に行うとともに、改善活動に関する企画、運営及び進捗確認を実施することによって、本業務の定着に向けた取り組みを行う。</p> <p>【3】各部署における中期目標を達成し、定員充足率、国家試験合格率及び就職率の向上を図る。●鍼灸科・鍼灸マッサージ科：来校者増加の為の方略（オープンキャンパス・学校説明会・個別説明・高校訪問など）、学力不振者に対する方略、および就職率向上に対する方略を具体的に立案・計画し、達成度の評価を加えて実施する。●柔道整復科：定員充足率、国家試験合格率及び就職率の向上を図るための達成可能なPDCAサイクルを効率的に回す。●事務局：広報、入試、就職支援等の事務業務について、各科の活動を支援し、進捗管理を行いながら、目標に向けた取り組みを行う。</p>

基準1 教育理念・目的・育成人材像

【大項目総括】

理念・目的・育成人材像については、以下の観点から自己評価を実施した結果、概ね適切に対応していた。

1 理念・目的・育成人材像は、定められているか

ほぼ適切に対応しているが、理念等の浸透度を卒業時に確認したところ、令和4年度の調査においても半数が理解していなかったことから、令和5年度下半期より対策を講じてきたが、令和5年度卒業生に対する調査においても改善は見られなかった。現行の対策を継続しつつ、理念等に基づいた学校（授業）運営を進めていくこととした。

2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか

鍼灸マッサージ科、鍼灸科及び柔道整復科を設置し、教育課程編成委員会等を開催し外部の意見を取り入れながら関連する業界等のニーズに適合させられるように努めている。

3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか

附設した医療機関や学外の施術所及び医療機関等での臨床実習を実施する等、実践的な教育を積極的に実施して理念等の達成に向けた取り組みを行っている。

4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか

学校の将来像については、非常勤講師連絡会を開催するなどして周知を図った。

【特記事項】

姉妹校や法人の組織として、法人事務局管轄の東洋医学臨床研究所、教育センター、教員養成科、Kuretake 塾などの施設を設置している他、令和元年度より新たに臨床教育研究センターを設置して、臨床教育の充実を図る取り組みを強化した。

基準 2 学校運営

【大項目総括】

学校運営については、以下の観点から自己評価を実施した結果、概ね適切に対応していた。

1 理念等に沿った運営方針を定めているか

ほぼ適切に対応している。非常勤講師連絡会の際に、事業計画概要書を配付し、運営方針等を説明することによって周知を徹底する。

2 理念等を達成するための事業計画を定めているか

ほぼ適切に対応しているが、予算、事業目標等については、事業計画書に掲載している予算が一部に留まっているため、引き続き、予算明細書の充実を図る。事業計画については、教務会において重点目標を中心に進捗管理することとした。

3 運営組織について

次の内容について、適切に対応している。

(1) 設置法人は組織運営を適切に行っているか

(2) 学校運営のための組織を整備しているか

4 人事・給与に関する制度を整備しているか

ほぼ適切に対応している。令和4年度から人事評価制度を本格的に導して、半期ごとに評価を行うとともに、その評価結果を賞与に反映している。昇任、昇給の基準については、本人事制度の運用を行いながら制度を設置することを目指している。

5 意思決定システムを整備しているか

意思決定方法を規程等に定めている。

6 情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っているか

学籍管理システムを更新し、専任の教職員がアクセス権を管理された中でシステムを利用できる環境を整えた。

【特記事項】

呉竹メディカルクリニックは本校に附設されおり、本校の理念等の達成に欠かせない存在となっている。

基準3 教育活動

【大項目総括】

教育活動については、以下の観点から自己評価を実施した結果、概ね適切に対応していた。

1 目標の設定について

次の内容については、概ね適切に対応している。

(1) 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか

(2) 学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか

2 教育方法・評価等について

(1) 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか

教育課程の編成は適切に行われている。主体的な学びを促すためアクティブラーニングを積極的に取り入れた。

(2) 教育課程について外部の意見を反映しているか

教育課程編成委員会を開催する等により適切に対応している。

(3) キャリア教育を実施しているか

ほぼ適切に対応している。引き続き、介護施設や病院等の学外臨床実習先をより増やすことを課題としている。

(4) 授業評価を実施しているか

ほぼ適切に対応しているが、授業評価結果を授業改善に活用しているか確実に確認することを継続課題としている。

3 成績評価・単位認定等について

次の内容について、適切に対応している。

(1) 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか

(2) 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか

4 資格・免許の取得の指導体制について

次の内容について、概ね適切に対応している。

(1) 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか

(2) 資格・免許取得の指導体制はあるか

運営方針の国家試験合格率 100%に至っておらず、引き続き、国家試験指導体制等の検討を行う。

5 教員・教員組織について

(1) 資格・要件を備えた教員を確保しているか

ほぼ適切に対応しているが、教職員の募集や昇格等について、規程を整備することを継続課題としている。

(2) 教員の資質向上への取組みを行っているか

ほぼ適切に対応している。教員の育成方針を明文化すること、関連業界等との連携による教員の研修・研究に参加する教員を増やすことなどを課題として継続して取り組む。

(3) 教員の組織体制を整備しているか

適切に整備している。

基準 4 学修成果

【大項目総括】

学習成果については、以下の観点から自己評価を実施した結果、概ね適切に対応していた。

1 就職率の向上が図られているか

ほぼ適切に対応しているが、12月時点の希望者の就職率が目標を下回ったことから、卒後の支援も含めて目標設定や支援方法の見直しを継続課題とした。

2 資格・免許取得率の向上が図られているか

適切に対応しているが、運営方針の合格率100%には至っていないため、過去の実績を踏まえた単年度目標を設定し、指導方法の改善等を進めていくこととした。

3 卒業生の社会的評価を把握しているか

臨床実習協力企業等との意見交換会を実施して、卒業生の評価等の情報収集を試みるなどにより、卒業生の社会的評価の把握に務めているものの情報量が少ないため、学外臨床実習施設等への訪問を実施する等により実態の把握に努めることとした。

基準5 学生支援

【大項目総括】

学生支援については、以下の観点から自己評価を実施した結果、概ね適切に対応していた。

1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか

ほぼ適切に対応している。関連する企業等との連携を強化するための訪問による情報交換や、9月までに内定を受けていない学生に対する個別面談を充実させることを課題としている。

2 退学率の低減が図られているか

学力不振による退学者を令和4年度よりも減らすことはできたが、全体的に退学率は増加しているため、内容を分析して対策を講じることを課題としている。

3 学生相談について

(1) 学生相談に関する体制を整備しているか

適切に対応している。

(2) 留学生に対する相談体制を整備しているか

留学生は在籍していないため、相談体制は整備していない。

4 学生生活について

次の内容について適切に対応している。

(1) 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか

(2) 学生の健康管理を行う体制を整備しているか

(3) 学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか

(4) 課外活動に対する支援体制を整備しているか

5 保護者との連携体制を構築しているか

適切に対応している。

6 卒業生・社会人に対する支援について

卒業生や社会人に対する支援体制は概ね整備されている。

(1) 卒業生への支援体制を整備しているか

適切に対応している。

(2) 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか

ほぼ適切に対応している。

(3) 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか

ほぼ適切に対応しているが、中高年の学生に対する就職支援策について、採用先企業等との連絡強化やハローワークとの連携により対応していくことを継続課題としている。

【特記事項】

就職支援においては、埼玉県産業労働部、埼玉キャリアサポートセンター及びハローワークの協力を得ながら学生指導に当たっている。

学生支援の一環として、公認心理士を週1回配置して、心理的な相談に対応している。

基準6 教育環境

【大項目総括】

教育環境について、以下の観点から自己評価を実施した結果、概ね適切に対応していた。

1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか

適切に整備している。新型コロナウイルス感染症の対策緩和により、令和6年度より卒業生に対する図書室の利用開放も再開することとなった。

2 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか

ほぼ適切に対応しているが、コロナ禍により実習生を受け入れられない施設があったため、病院、介護施設の実習先の拡充を課題としている。

3 防災・安全管理について

(1) 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか

ほぼ適切に対応しているが、教室や更衣室のロッカー固定について対応することを継続課題としている。

(2) 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか

概ね適切に対応している。

基準7 学生の募集と受入れ

【大項目総括】

学生の募集と受入について、以下の観点から自己評価を実施した結果、ほぼ適切に対応している。

1 学生募集活動について

(1) 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか

(2) 学生募集を適切、かつ、効果的に行っているか

令和6年度の入学者が前年度を大きく割り込んだことから、外部調査機関の協力を得て来校者に対するアンケート調査を行い、その結果に基づいて対応改善を行うことを課題としている。

2 入学選考について

(1) 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか

適切に対応している。

(2) 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか

概ね適切に対応している。課題としていた財務の計画数値と応募者数の予測値との整合性を図ることについては、予算要求資料作成時に応募者数の予測値を加えて所管部署に報告した。

3 学納金について

次の内容については、適切に対応している。

(1) 経費内容に対応し、学納金を算定しているか

(2) 入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱を行っているか

基準8 財務

【大項目総括】

財務について、以下の観点から自己評価を実施した結果、概ね適切に対応している。

1 財務基盤について

次の内容については、ほぼ適切に対応している。

(1) 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか

入学者の確保と中途退学者の抑制について、卒業生調査及び入学者調査に基づいて対応することを急務としている。

(2) 学校及び法人運営に係る主要な財務数値に関する財務分析を行っているか

2 予算・収支計画について

次の内容については、適切に対応している。

(1) 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか

(2) 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか

3 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか

適切に対応している。

4 私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか

ほぼ適切に対応しているが、学校単体の事業報告書の作成を継続課題としている。

基準 9 法令等の遵守

【大項目総括】

法令等の遵守について、以下の観点から自己評価を実施した結果、概ね適切に対応していた。

1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか

適切に対応している。

2 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか

概ね適切に対応している。

3 学校評価について

次の内容について、概ね適切に対応している。

(1) 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか

(2) 自己評価結果を公表しているか

(3) 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか

(4) 学校関係者評価結果を公表しているか

4 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか

適切に対応している。

基準 10 社会貢献・地域貢献

【大項目総括】

社会貢献・地域貢献について、以下の観点から自己評価を実施した結果、概ね適切に対応していた。

1 社会貢献・地域貢献

(1) 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか

ほぼ適切に対応している。

(2) 国際交流に取り組んでいるか

国際交流については、海外研修生の受け入れについて課題としている。本校学生の短期留学については旅費の高騰や国際情勢等を鑑みながら実施することを課題としている。

2 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか

ほぼ適切に対応している。

【特記事項】

学生が参加したボランティア活動については、課外活動として特待生選考時の評価に加えている。